

藝文協だより

第257号

令和2年3月
〒930-0096 富山市舟橋北町7-1
県教育文化会館内
☎(076)441-8635(内線123)

「2020年とやま世界こども演劇祭」今夏開催！ 海外・県外の出演団体 決定



ブラジル「ティバナレ・グループ」



タイ「クホーン・ドラマ・ダンス・クラブKMUTT1」



モナコ「カンパニー・フロレストン」



ハンガリー「プレイヤーズ・カンパニー・メゾーチャート」

今年(2020年)8月18日(火)から22日(土)の5日間、いよいよ「2020年とやま世界こども演劇祭」第4回とやま世界こども舞台芸術祭(PAT2020)が開催されます。2月19日(水)にパレブランチ高志会館で行った第3回実行委員会では、昨年県内各所で行われたプレ公演など事前準備事業の結果報告がなされ、また参加団体や日程案、2020年度事業計画案や予算案などが承認されました。ボランティア募集等、春にかけていよいよ本格化する手配調整について、各部長から具体的な準備状況・検討事項が報告され、本演劇祭開催成功に向け情報を共有しました。夏の一大イベントに向けての準備が着々と進められています。

海外5大陸17ヶ国からは19団体が参加予定。富山の国際フェスティバルに10回連続で参加しているアメリカ、富山県と友好提携している中国やブラジル、ロシア、また芸文協と長年にわたる深い親交があるハンガリーや韓国、チェコ、モナコ、ほかエジプトなど多様な国々で活動している演劇や舞踊の団体を招へいします。国内は北海道から徳島までの8都道県より11団体、また県内から約40団体が参加を予定しています。

第38回とやま文学賞

第38回とやま文学賞の授賞式を、3月25日(水)にパレブラン高志会館にて挙行了ました。

今回の文学賞には総数69編(小説10、評論2、児童文学4、随筆2、詩31、短歌7、俳句9、川柳4)の応募があり、選者の菅野昭正先生(東京大学名誉教授・フランス文学者)と川本皓嗣先生(東京大学名誉教授・比較文学者)による選考の結果、高嶋正さんの小説「食人鬼(グーラー)」が第38回とやま文学賞受賞作に決定しました。

授賞式では、来賓に石井隆一県知事の代理で須河弘美県生活環境文化部長をお迎えし、加藤淳芸文協会長より高嶋さんに賞状ならびに正賞・副賞が、佳作の小川明子さんと池永正子さんに賞状と記念品が授与されました。

第38回とやま文学賞



高嶋 正(小説)

「食人鬼」

佳作

小川 明子(詩)

「炎の中から」

池永 正子(短歌)

「いとほしき人」

(敬称略)

『とやま文学』 第38号合評会

日時 6月7日(日)

午後2時より(予定)

場所 富山県教育文化会館

403号室

※参加希望者は、事前に芸文協事務局にご連絡下さい。

「とやま文学」第38号を芸文協事務局他、県内一部書店にて定価1000円(税込)で販売します(受賞作に加え、川本皓嗣先生の特別寄稿をはじめとした招待作品を掲載。特集「山々を詠う 万葉から現代」)。

なお、芸文協会員は事務局でお求め頂いた場合、最新号一冊目を800円で販売します。郵送での販売(送料別途)およびバックナンバーについては、左記事務局までお問い合わせ下さい。

【芸文協事務局】

(076)441-8635

(内線123)

平日9時半～18時半

とやま文学



第38号

第39回とやま文学賞募集

■資格

・富山県在住者及び本県に居住したことがある方

■分野

・文学に関する作品すべて(未発表に限る)

■規定

・4000字詰原稿用紙使用(ワープロ・パソコン原稿は20字20行打ち)

小説(戯曲含む)・評論…

児童文学・随筆…30枚以内

詩…3編以内 短歌…30首

俳句…20句 川柳…20句

原稿には必ず「部門・作品名(ふりがな)・住所・電話番号・氏名(ふりがな)・年齢・生年月日・職業・経歴」を付記して下さい。本県に居住したことのある方は居住した市町村名を明記して下さい。

締切(消印有効)

2020年9月30日(水)

「とやま文学賞」受賞者には正賞の記念品熊谷喜美子氏作ブロンズ像「文雅」、副賞十万円(総額)を贈呈

送付先

〒930-0096

富山市舟橋北町7-1

(社)富山県芸術文化協会事務局

「とやま文学賞」係あて

芸文協への後援名義使用申請書類について

芸文協の後援名義使用の申請には、所定の用紙で申請してください。芸文協のホームページから申請書類をダウンロードできます。(PDF・word形式)Eメールでの提出も受け付けております。(送信先: info@pat.or.jp)

■芸文協ホームページ <http://www.tiatf.or.jp/>

「公演・事業チラシ ダウンロードはこちらから」のバナーより、申請書類や公演チラシ等のダウンロードページにアクセスできます。



●「寄付」●

酒井和佳子氏 20万円

芸文協副会長の酒井和佳子氏から、芸文協創立50周年記念事業のために役立ててくださると、ご寄付頂きました。ご厚志に深く感謝し、皆様にご報告いたします。

令和元年度芸術鑑賞

「安達原」
あだちがはら

令和元年度

芸術文化指導者招へい事業

(合唱・洋舞・邦楽)

2月2日(日)、令和元年度芸術鑑賞「安達原」を高岡文化ホールで開催しました。

第一部「奏く絃・竹・声く」では、県外から北川

聖子さん、大谷祥子さんから熟練の邦楽家を招き、黒川真理さん、片山瞳山さんら県内で活躍する奏者と、黒川邦楽院生、小杉中合唱部による邦楽が披露されました。箏や尺八、コーラスが奏でる「春の賦」などの音色に、観客は雅な邦楽の世界に誘われました。



第一部 奏～絃・竹・声～

第二部では、邦楽・モダンバレエ・演劇を融合した「鬼女伝説 安達原く語り・箏・洋舞によるく」を上演。黒川真理さんが作曲を手掛けたドラマティックな生演奏のもと、演出・振付・主演の可西晴香さん、劇団芸芸座の谷井美夫さんと角光則さん、語りの稀音

家義祐さん、可西舞踊研究所研究生らにより、人間心理を深く穿った作品の世界がステージに描き出されました。



第二部 鬼女伝説 安達原 ～語り・箏・洋舞による～

【合唱部門】

(宮丸勝プロデューサー)

1月18日(土)～19日(日)

富山市民芸術創造センター、滑川市西地区コミュニティホール

講師Ⅱ岩本達明先生

(合唱指導者)

身体の仕組みを理解し、動かしながら行う発声練習や、正しい音程を出す方法をご指導頂きました。受講者には合唱指導者を目指す学生もおり、参加した合唱団をモデルに実際に指揮を行い、今後の指導方法の助言を受けるなど、充実したレッスンとなりました。



(合唱部門) 岩本達明先生

【洋舞部門】

(中川文可プロデューサー)

1月25日(土)～26日(日)

富山市民芸術創造センター
講師Ⅱ菊地尚子先生

(舞踊家)

余分な力を使わずに呼吸をうまく使って脱力する方や、骨のつながりを意識して身体を立体的に使う方法等、菊地先生独自のメソッドを教えて頂いた他、練習に取り組む際の姿勢等についてもお話して下さいました。受講者は明るくパワフルなレッスンやアドバイスを受け、自身の能力向上に励みました。



(洋舞部門) 菊地尚子先生

【邦楽部門】

(瀬尾雅加寿プロデューサー)

2月22日(土)～23日(日)

創造の森 越中座
講師Ⅱ酒井雅邦先生

(邦楽家)

昨年に引き続き酒井雅邦先生のワークショップを開催しました。箏独奏ならではの自由さを楽しみながら表現するコツや、細かな指使いの一つにも具体的なアドバイスを頂きました。丁寧で熱心な指導に、受講者たちはメモを取ったり休憩中も練習をしたりと、集中してレッスンに取り組みました。



(邦楽部門) 酒井雅邦先生

